

# タウンミーティング

当面のまちづくりについて  
～持続可能な伊賀市づくりに向けて～

# 伊賀市誕生から15年目

「ひとが輝く 地域が輝く」伊賀市の実現

無駄のない財政運営

市民目線・市民感覚による市政

市政の再生

# 伊賀市の現状1

## 人口

・合併(平成16年)時 10万人都市



・平成27年(国勢調査)

人口	約9万6百人
年齢区分別人口(生産年齢人口割合)	56.5%
高齢人口	31.7%

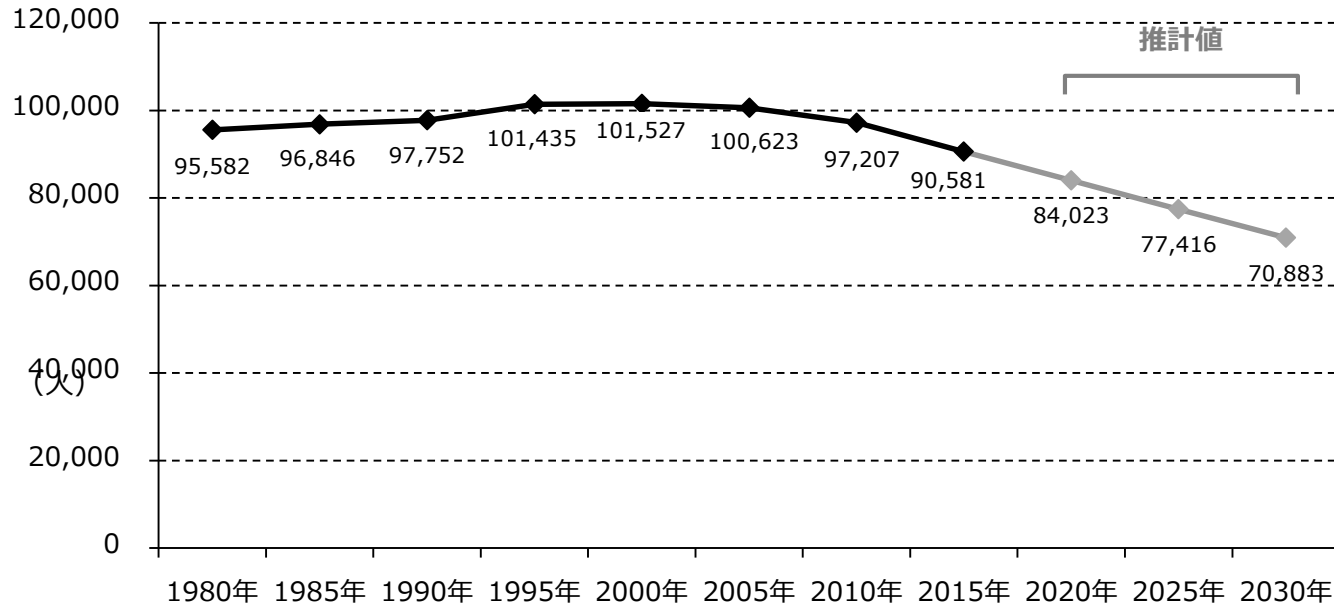


・2030年(国立社会保障・人口問題研究所推計)

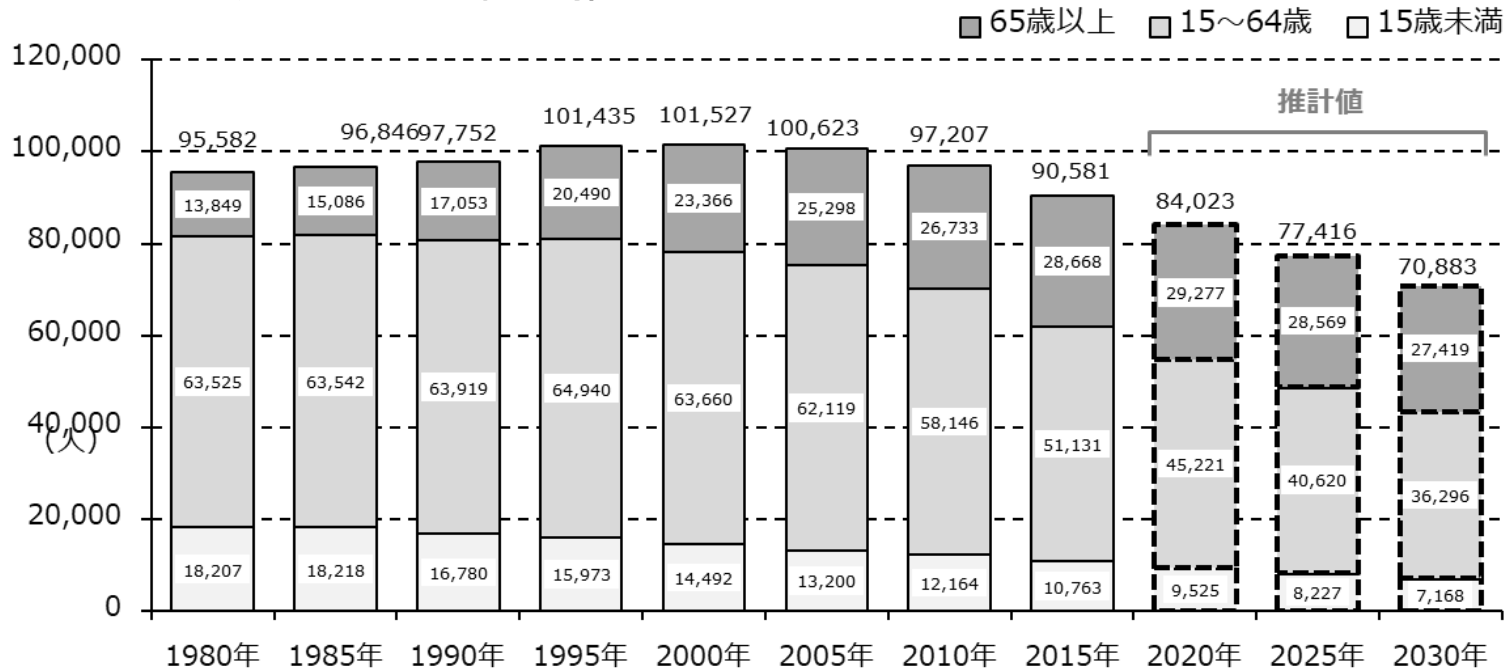
人口	約7万1千人
生産年齢人口(生産年齢人口割合)	約51%
高齢人口	約39%

※高齢化が進み、65歳までの働き手が減少する予測

# 将来人口推計



## 年齢3区分別人口の将来推計



# 伊賀市の現状2

## 財政状況

- 市町村合併に伴う地方交付税・普通交付税の特例が終了  
平成26年度約100億円が 5年間で △約15億円
- 生産年齢人口の減少
- 地価の下落

→ 厳しい財政状況に直面

# 人口減少、少子高齢化に対応する施策

「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

「第2次伊賀市総合計画第2次再生計画」

- ・ガバナンスの確立
- ・市政再生の深化・進展
- ・誇れる伊賀市、選ばれる伊賀市

→持続可能な伊賀づくり・地域づくりを進める

# タウンミーティングの概要について

## 1. 新市建設計画の変更・・・資料1

伊賀市の一体感をさらに高めていくため、有利な財源である合併特例債の活用根拠となる新市建設計画の計画期間を2年間延長する

(合併特例債について)

起債可能額 約465億円

H30年末借入見込額 約423億円

発行残額 約 42億円

※今後3年間の事業の財源に充てる程度の額

これまで特例債を活用した主な事業

消防庁舎の建設、小中学校の整備、庁舎整備、  
汚泥再生処理センター建設事業

## 2. キラツと輝け 地域応援補助金・・・資料2

- ・住民自治協議会が地域づくり計画に沿って行う事業を支援し、自主自立による地域づくり・まちづくりを進めていただくための補助金

## 3. 庁舎移転後の市街地の賑わいづくり・・・資料3

- ・市役所機能が四十九へ移転、19万人の利用が失われた
  - ・地価の下落にもつながる
  - ・伊賀市全体の活力の衰退にもつながる恐れ
- 市街地の賑わいづくりは、市全体の元気づくりにつながる

※詳細については、後ほど担当部署から説明します。